

ポリマーセメントモルタル

NAモルタル

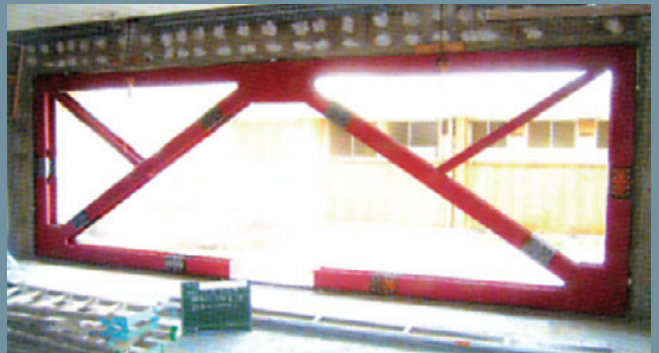
NAモルタルは鉄骨ブレース接着工法用のポリマーセメントモルタルです。



下地調整



下地調整完了



鉄骨建方完了

● NAモルタルの特長

(1) 簡便な混練作業

施工現場において、所定量の水と混練するだけで、品質の安定したポリマーセメントモルタルが得られます。

(2) 優れた施工性

優れた左官仕上げ性により、天井面において最大約15mm、壁面において最大約20mmまで一度に施工でき、良好な仕上げ面が得られます。

(3) 高いひび割れ抵抗性

高機能性特殊短繊維により、乾燥や衝撃などに対して高いひび割れ抵抗性を示します。

(4) 優れた付着性

高機能性特殊粉末樹脂により、既設コンクリートに対して優れた付着性を発揮し、一体化が図れます。

(5) 優れた耐久性

主成分である特殊無機系材料により、長期間にわたって安定した性能を発揮し、耐久性、耐候性に優れています。

● 施工環境管理

- 施工時及び養生時の気温が5～40℃で、結露しない環境下にて施工を行ってください。
- 施工後強風・降雨・直射日光を受けないよう配慮願います。
- 5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げてください。
- 氷点下の気温が予想される場合は施工を中止してください。
- 酷暑時には、練り上がり温度が概ね35℃以下になるよう、練り水に冷水を用いる等の対策を講じてください。

● 標準配合

	NAモルタル	水	練り上がり量
1袋配合	25kg(1袋)	3.8～4.2kg	約13.5ℓ
1m ³ 配合	1875kg(75袋)	300kg	約1000ℓ

● 物性値の一例

項 目	材 齢	試験値	試験方法
単位容積質量	—	2.15	
凝結時間	20℃	—	始発 2:30 終結 3:30
圧縮強度 (N/mm ²)	20℃	1日 28.3 7日 57.1 28日 67.3	JIS R 5201に準拠
曲げ強度 (N/mm ²)	20℃	1日 5.4 7日 8.3 28日 9.6	JIS A 1171に準拠
付着強度 (N/mm ²)	20℃	7日 2.3 28日 2.5	建研式簡易引張試験装置 (NAプライマーを使用)

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

取り扱い上の注意 ⚠

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

使用および取扱いの前に、当製品の製品安全データシート(MSDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告なしに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

● 施工方法

下地処理

1. 既存仕上げ材および脆弱部の撤去
躯体の補修後に下地処理を行います。ただし仕上げモルタル撤去時同時に行うことも可能です。
2. 目荒らし
下地処理は全面をチップングまたはサンダーケレンで目荒しします。

プライマーの塗布

1. 下地の乾燥状態を確認して、NAプライマーを100～200g/m²(平滑面での標準塗布量は120g/m²)を目安に噴霧器、刷毛等で下地に塗布してください。
2. 下地の凹凸部に溜まった余分なプライマーは、ウェス、エアブロー等で取り除いてください。

材料の混練

配合表を目安にモルタルミキサーを用い3分以上混練します。

※外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使時間、施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で混練水量を調整します。

※練り上がった材料は30～45分以内(酷暑時は可使時間が著しく低下するので、およそ15分以内)に使い切ってください。

施 工

1. NAプライマーの指触乾燥を確認します。
2. 左官によるコテ塗りを行う場合は3～5mm厚みでしごき塗りを行い、追っかけて10mm程度の塗り厚で塗り上げてください。塗り厚が15mm以上の場合は先に塗り付けた材料がしまってから塗り重ねてください。

養 生

モルタル塗布後ただちにシート養生を行ってください。また寒冷時には、保温養生を行ってください。